

国語科学習指導案（小学校第4学年）

1 単元名 興味をもったことをしょうかいしよう「ウミガメの命をつなぐ」

2 ねらい

- 中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考えながら読む。（読む能力）
- 興味をもったことをもとに要約し、紹介文を書く。（書く能力）

3 本実践とキャリア教育

（1）児童観

本学級の児童（男子16名 女子9名 計25名）は、授業を落ち着いて受けることができ、運動会等の行事や係活動も頑張って活動する様子が見られる。男子は活発で女子はおとなしい児童が多い。全体として、与えられた課題や決められた活動に真面目に取り組むが、さらによいものにしようとする向上心や自主性、活発に考えを伝え合おうとする積極性に関しては、十分とはいえない。

読むことに関して、読書は好きだが学習漫画や図鑑を読んでいる児童が多い。しかし、物語の世界観を想像することや説明文などで大事な語や文を落とさず論理的に読み取ることができる児童が少ない。また、書くことについては、感じたことを短い文で書くことができるが、考えたことを語句の並び方や主述を整えて書くのが苦手な児童が大半を占める。語彙の少なさから文章が続かず、伝えたいことをまとめることができない児童も多い。

（2）本実践を通したキャリア教育の構想とキャリア教育として育みたい力

①本実践とキャリア教育との関わり

本実践では、「小学校学習指導要領解説 国語編」の「各学年の目標と内容」から、「書くこと」では中学年から「相手や目的に応じ」ることを、「読むこと」では「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む」ことを目標に置いている。

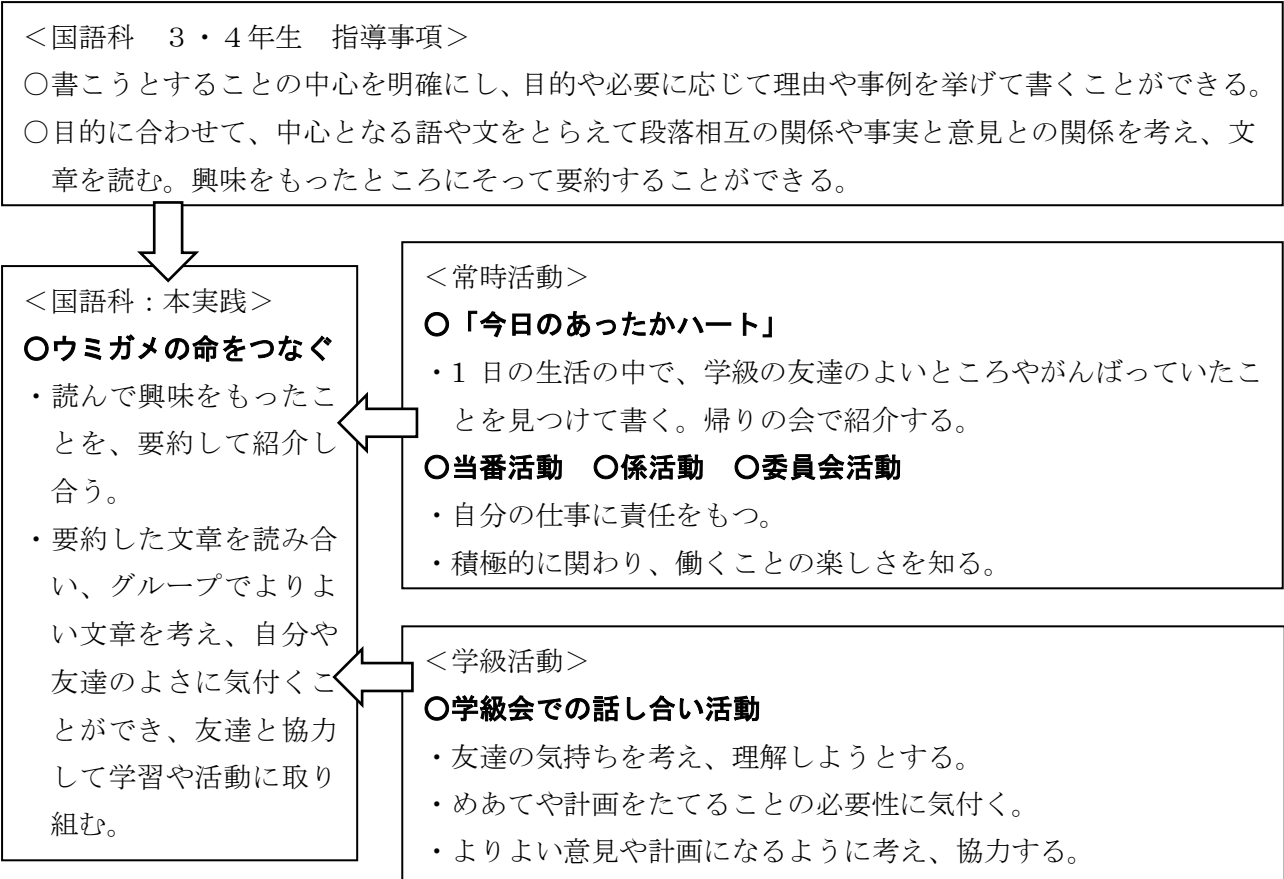
書く相手としては、保護者や地域の人々などの大人から、同学年・異学年の友達まで多様である。児童自身が課題意識をもって相手を設定したり、書いた文章を相手がどのように受け止めるかなどについても考えさせたりする。また「要約」については、要約するときの目的や必要に応じて、分量や時間、元の文章の構成や表現の生かし方などを考え、要点に注意しながら要約する経験を重ねることが重要である。

「読むこと」において「目的に応じ」ることは、話すこと・聞くこと、書くことと同様に重要である。読むことによって何を得ようとするのか、またどのように活用しようとするのかなどについて考える必要がある。中心となる語や文に注目して要点をまとめ、内容を整理することが大切となる。

②本実践を通して育みたい基礎的・汎用的能力

本実践を通して、「課題対応能力」の育成を図る。自分の書いた要約した文章を読み合い感想を伝えることで、自分や友達の要約の仕方や内容のよいところに気付くことができるであろう。また、グループごとに要約した文章を作る活動の中で、友達と協力しながら推敲を重ねることができ、よりよい文章の書き方について学び合うことができるであろうと考える。

4 全体構想



5 指導計画（12時間扱い）

展開	時配	学習活動	支援や指導の手立て ☆評価
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・初読の感想を書く。 ・興味のある場面をいくつか選び出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもったところ、感心したところ、疑問などの感想を書く視点を示す。 <p>☆進んで興味をもったことや感じたことを書こうとしている。（関心・意欲・態度）</p>
第二次	2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとに中心となる語や文に着目し、要点をまとめ、小見出しをつける。 	<p>☆目的に応じて、中心となる語や文を捉えて、段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読んでいる。（読む能力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート①にまとめる。
第三次	5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・要約の仕方を理解する。 ・興味をもったことを中心に、書き出した言葉や文をもとに、個人で要約した文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要点に注意しながら要約するための、必要な元の文章の生かし方や表現などを示す。 <p>☆目的に応じて、要点に注意しながら読み、文章を引用しながら興味をもったところを要約しようとしている。（読む能力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味をもった場面の大事な言葉や文章に気付けるように、本文に下線を引く。

	7	<ul style="list-style-type: none"> ・同じテーマごとにグループを作り、それぞれの要約した文章を読み合う。大事な言葉や文を書き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3人のグループ構成にする。 ・付箋を使い、キーワードになる言葉や文章を書き出す。 ・前時までにまとめたワークシート①も活用する。
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・書き出した言葉や文をもとに、グループで要約した文章にまとめる。 <p style="text-align: center;"><本時></p> <ul style="list-style-type: none"> ・より内容が適切に伝わるように、短くしたり詳しくしたりする。 <p>・グループで要約した文章を全体に発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのよさ（視点と一言）をワークシート②に書く。 ・キーワード等を抜き出した付箋やワークシート①を活用し、段落構成などを意識して要約の文を書くようにする。 ☆要点に注意し、文章を引用しながら興味をもったところを要約した文章を書こうとしている。（書く能力） ・他のグループの発表を聞いて、文章のまとめ方のよさに気付く。各グループのよさ（視点と一言）をワークシートに書く。
第四次	10 11	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介文の書き方を知る。 ・どの相手に書くか決める。 ・興味をもった場面の紹介文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に合った言葉遣いや内容で紹介文を書くことを伝える。また、相手がどのように受け止めるかなどについても考えさせる。 ☆内容に即した叙述の仕方があることに気付く。（言語についての知識・理解・技能） ・低学年向け、同学年向け、大人向け、それぞれの紹介文を書く際に気を付けることを全体で意見を出し合い確認する。 ☆要約した文をもとに、興味をもったことが伝わるように紹介文を書く。（書く能力）
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や図を画用紙で示しながら、視覚的にも工夫して発表する。

6 本時の目標と展開

(1) 本時の目標 【 国語科 】

・「興味をもったところを紹介する」という目的に応じて内容を整理する。中心となる語や文に注目して要点をまとめ、文章を引用しながら、興味をもったところを要約した文章を書くことができる。

(2) 本時の実践を通して特に育みたい基礎的・汎用的能力 【 キャリア教育 】

・グループで1つの要約した文章を作ろうとすることで、より内容が適切に伝わる文章を書くことができる。それぞれの要約した文章を読み合い、自分や友達の表現のよさに気付く。必要な言葉を選び出すこと、段落構成を意識すること、語句の並び方や主述を整えて書くことなど、グループで協力することで内容の推敲が進み、より精選された文章を書くことができる。（課題対応能力）

(3) 本時の展開 (12時間扱いの8時間目)

過程	学習活動と内容	配慮事項 (○) 評価 (☆) キャリア教育の視点から見て特に重要なこと (◎)
導入	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとのテーマの確認。 ・要約の仕方の確認。 <p>2 学習問題を確認する。 「書き出した言葉や文をもとに、グループで要約した文章にまとめよう。」</p>	<p>○掲示物 (要約した文章の書き方の要点) を使い、説明する。</p> <p>○段落別に要点をまとめたワークシート①も活用するように伝える。</p> <p>◎グループで協力することで内容の推敲が進み、精選された文章を書くことができることを伝える。</p>
展開	<p>3 個人で要約した文章をグループ (2～3人) で読み合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で付箋に書き出したキーワード、ワークシートを確認する。 <p>4 書き出したキーワードを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付箋をもとに、要約文の構成を考える。 <p>5 要約した文章を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートに書く。 ・より内容が適切に伝わるように、短くしたり詳しくしたりする。 ・語句の並び方や主述を整える。 ・言葉の言い換えも必要に応じて行う。 <p>6 グループで要約した文章を全体に発表する。</p>	<p>○何に興味をもち、それをわかりやすく要約できているかという視点で交流させる。</p> <p>◎文章の内容や要約の仕方などについて、お互いのよいところを認め、伝え合う。ワークシート②によさ (視点と一言) を書く</p> <p>☆内容に即した叙述の仕方があることに気づく。(言語についての知識・理解・技能)</p> <p>○付箋をグループ用のワークシートに分類したり並べ替えたりしながら貼るようになる。</p> <p>○キーワード等を抜き出した付箋やワークシートを活用し、段落構成などを意識して要約の文を書くようにする。</p> <p>○要約の際に主旨がずれていないか (興味をもったこと) 教師が机間巡視し、確認する。</p> <p>◎友達と協力して学習活動に取り組む。(意見を出し合う、認め合う、役割分担をする等)</p> <p>☆要点に注意し、文章を引用しながら興味をもったところを要約した文章を書いている。(書く能力)</p> <p>○他のグループの発表を聞いて、文章のまとめ方のよさに気付く。各グループのよさ (視点と一言) をワークシートに書く。</p>
終末	<p>7 本時の成果を確認し、次時の活動の意欲づけをする。</p> <p>「個人とグループの要約した文章はどのように違うか。」</p> <p>「今回は紹介文を書く。」</p>	<p>◎学習活動の中で「よりよい文章を書く」という課題解決ができたかどうかを確認する。</p> <p>○伝える相手 (同学年、2年生、大人) を決めておくこと、相手に合った言葉遣いや内容で紹介文を書くことを伝える。</p>

7 評価（評価規準）

【 国語科 】

- ・ 紹介文を書くという目的に応じて、興味をもったことをもとに文章を要約しようとしていたか。
（国語への関心・意欲・態度）
- ・ 紹介文を書くという目的に応じて、中心となる語や文を捉えて文章を読んでいたか。（読む能力）
- ・ 紹介文を書くという目的に応じて、要点に注意し、文章を引用しながら興味をもったところを要約した文章を書くことができたか。（書く能力）
- ・ 内容に即した叙述の仕方があることに気づいていたか。（言語についての知識・理解・技能）

【 キャリア教育 】

- ・ グループで協力することで内容の推敲が進み、より精選された文章を書くことができたか。
- ・ 児童に「さらによいものにしようとする向上心や自主性」が感じられたか。
- ・ 「活発に考えを伝え合おうとする積極性」が見られたか。

<参考> キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」の内容と具体的な要素

(ア) 人間関係形成・社会形成能力	(イ) 自己理解・自己管理能力	(ウ) 課題対応能力	(エ) キャリアプランニング能力
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力
他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ等	自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等	情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善等